

# 様式D

不祥事防止のための  
心理と行動のワークシート

## わいせつ行為

[様式D] 盗撮編

このワークシートは、平成 30 年度以降、実際に起きた埼玉県の記事から「わいせつ行為(盗撮)」に該当する複数の事例を抽出して共通する出来事や事故者の心理状態など\*1 を分析し、認知行動療法の考え方\*2 を取り入れて作成したものです。不祥事を起こすに至るまでには、行動に先立つ思考過程のパターンがあります。ワークシートを使って自分をモニタリングしてみましょう。

\*1 掲載に当たっては実際の事例を参考に、改変を加えている。

\*2 問題のある行動につながる考え方の癖、いわゆる認知の歪みを認識して、適切な考え方・行動へ向かわせる手法

出来事		不祥事へ向かわせる 心の声	不祥事を思いとどまらせる 心の声
日常の段階から、不祥事の発生、発覚に至るまでの経過を自分事としてたどってみましょう。		出来事に対応する心理としてあなたの思いに近い方の□にチェックを入れ、更に思い浮かべることがあれば( )の中に記入しましょう。	
日々のストレス	仕事で上手くいかない出来事があった。	<input type="checkbox"/> 不安や劣等感のような負の感情は隠したい。自分で解決しなければ。 ( )	<input type="checkbox"/> この気持ちを誰かに話してみよう。自分に合うストレス対処法を見つけよう。 ( )
インターネット上の情報への興味	インターネットで違法または不適切、公序良俗に反するような内容のコンテンツを見た。	<input type="checkbox"/> 昔から興味のある内容だ。世の中の多くの人が楽しんでいる。現実でもよくあることなのだろう。 ( )	<input type="checkbox"/> 現実とインターネットの世界との境界線をしっかり付けよう。危うい情報に耽ることが日課にならないようにしよう。 ( )
日々のストレス	人間関係で上手くいかない出来事があった。	<input type="checkbox"/> 嫌な記憶をかき消したい。怒りや妬み、疲れを紛らわせたい。刺激的なことで自分の気持ちを回復させたい。 ( )	<input type="checkbox"/> 現実から目を背け、逃避するだけではなく、冷静に振り返って今後に向けた最善の行動を考えることも必要かも。 ( )
成功体験	教室で子どもたちの様子を誰にも知られずに撮影してみた。自分のスマートフォンに保存されている画像を、後で見返した。	<input type="checkbox"/> 自分が見られていることに気が付かない人の姿を見られることが楽しくて、嬉しい。優越感を得られる。 ( )	<input type="checkbox"/> 自分に置き換えて考えてみよう。自分の行動を誰かが盗撮していて、後で見返されていたら…。 ( )
入念な準備	インターネットで防犯用・記録用の小型カメラを購入した。センサーとWifi機能付きで一見カメラのように見えない。	<input type="checkbox"/> 入念に準備して気をつけて実行すれば見つからないのではないかと。誰にも気づかれずに仕掛けるチャンスはある。 ( )	<input type="checkbox"/> 自分はどうかしている。犯罪者になる前に、引き返そう。機器を手放して、運動や音楽など、倫理に反さずに楽しめるほかのことに集中しよう。 ( )
日々のストレス	私生活で上手くいかない出来事があった。	<input type="checkbox"/> 自己肯定感を回復するためには、内に秘めた欲望を満たす必要がある。 ( )	<input type="checkbox"/> ストレスに対処する手段と、異常な行動とが結び付かないようにしよう。 ( )
行為のエスカレート①	人通りの少ない場所を下見した。更衣室には、小型カメラを設置しやすいと考えられる死角があることがわかった。	<input type="checkbox"/> 性的な欲求や興味が沸き上がってきた。スリルを味わいたい。 ( )	<input type="checkbox"/> 教職員が盗撮を起こしたことが判明したら学校はどんなことになるだろう。 ( )
行為のエスカレート②	誰にも気づかれずに設置できた。回収も上手くできれば、普段は見ることのできない映像が手に入る。	<input type="checkbox"/> 電子データを楽しむだけで、体を触っているわけではない。バレなければ誰も傷付けない。支配欲が満たされる。 ( )	<input type="checkbox"/> 異常なことをしている。被害者が知ったら大変な恐怖を感じるだろう。このままでは教員を続けられなくなるのでは。 ( )
常習化	日常的に盗撮を繰り返すようになった。出来る条件が揃えば、躊躇なく実行してしまう。	<input type="checkbox"/> 悪い習慣のお陰で心のバランスを保っている。仕事を頑張っているからいいだろう。 ( )	<input type="checkbox"/> 誘惑が現れると自分自身の意思では衝動を止められない。治療が必要だ。 ( )
発覚	トイレの壁の下に仕掛けられた機器を発見した生徒が担任に相談して発覚。	被害者、被害者の保護者を恐怖や不快な目に合わせてしまった。仕事を失い、世間に名前が知れ渡った。自分の家族は転居を余儀なくされた。	

## セルフワーク 自分自身のモニタリングをしてみましょう。

「不祥事へ向かわせる心の声」が強いところや、「不祥事を思いとどませる心の声」が弱いところはどの段階でしたか。

(記入しましょう)

ストレスは、問題行動に至りやすいハイリスク状況の一つと言われています。あなたにとってのストレス解消方法を、できるだけ多く挙げてみましょう。

(記入しましょう)

あなたにも事故者の特性と共通するものがないか考えてみましょう。

◆参考◆ 事例分析から見えた事故者の特性の共通点 (ここに掲げた特性に当てはまる者全てが問題のある行為を行うわけではありません。多くの教職員に当てはまるものもあります。)  
嫌なことが頭に浮かぶと消し去りたくなる／こだわりが強い／他者への共感が乏しい

(記入しましょう)

あなたが今、大切にしたいと思っていることは何ですか。(あなたが「大切にしたいこと(人・物など)」は、不祥事を思いとどませるためのブレーキです。もし、あなたが不祥事を起こしてしまったら、「大切にしたいこと」を守ることができなくなってしまうかもしれません。)

(記入しましょう)

## 防止策 不祥事を食い止めるためにできることを考えましょう。

あなたの「不祥事へ向かわせる心の声」を「不祥事を思いとどませる心の声」に切り替える方策は何ですか。

(記入しましょう) 考え方:

(記入しましょう) 具体的な行動:

あなたが同僚だった場合にできることは何ですか。

(記入しましょう)

あなたの職場で、次の事項が行われる場合がありますか。 個人のスマートフォンやカメラを使った児童生徒の撮影

なし・あり(ある場合には具体的な内容を記入しましょう)

このような事故を起こした場合に問われる①～④の責任について、それぞれ具体的に考えましょう。

(記入しましょう)①行政上の責任:                      ②刑事上の責任:                      ③民事上の責任:                      ④社会的な責任:

同じような事故を、あなたの職場で絶対に起こさない・起こさせないようにするために、みんなで取り組めることを考えましょう。

(記入しましょう)

～もし、「衝動が抑えられない」「強い固執がある」と感じたら～

依存症の相談ができる医療機関の専門医に相談しましょう。 大石クリニック(Tel.045-262-0014) 周愛利田クリニック(Tel.03-3911-3050)

公立学校共済組合埼玉支部事業のメンタルヘルス相談利用である旨を伝えてください。共済組合では、どなたが受診されたかの報告は受けていません。安心して御相談ください。 年度内3回まで無料